

## 運動方針

組織広報委員長 浜田英宏

漂流する政党政治の打破、地域伝統・文化の保持、時代に合った改革を断行する真の保守政党として、党活動の改善、県民の期待感醸成を主眼においた広報活動を力強く、引き続き展開していきます。

### ●組織活動

#### [党員の情報共有]

党組織強化の基盤助成の手段の一つとして、現在、EメールマガジンやFAX通信で一部の支部役員、職域支部へ情報提供を行なっています。これは、党本部役員の記者会見での発言、党青年局活動、役員テレビ出演番組の紹介、補正予算や国会決議に対する党本部の考えなどをお届けしています。また先日は、党県議団中山間PTから地域支部役員へアンケートをお願いしたところです。

本年度は、一部の役員だけでなく、できるだけ多くの党員への情報共有に努めていきます。現状の費用面を考慮して、また伝達のスピード感を上げるため、インターネット通信を活用しますので、より多くのメールアドレスの登録を各支部で集約して頂きたい。

それらの情報ネットワークを通じて、マスコミでは報じない県連の活動や党本部の姿勢を知って頂き、また、各支部が抱える諸課題の把握に努めてまいります。

#### [有為な人材の発掘と養成]

KOCHI 自民党政経塾第3期を開講中です。「学び」の場を県連が中心となり提供していきます。

女性が、若年層が政治を変えてきました。青年部局移動役員研修会、女性局研修会の開催支援を積極的に支援し、次世代リーダーの党員養成につなげて参ります。

### [友好団体との更なる関係強化]

昨年、看護連盟、建設業協会、歯科医師連盟をはじめとするわが党ともに歩んできた友好団体と複数の会合を開催しました。本年度も、県政与党である自民党県議団、県選出国會議員とともに、各団体からの要望に対してきめ細かく対応し、団体を通じて届けられた民意・県民の願いに的確に応えていきます。

### ●広報活動

今や老若男女、無党派層を問わず「情報の発信源・交流の場」であるインターネットを引き続き有効な手段として改善活用していきます。

一案として、党政策や姿勢を広く発信するため、政治に興味を持つ党员以外の県民への接点として、高知県連ネットサポーターズクラブを開設します。より直接的な情報発信を可能とするとともに、党员同士の情報交換同様、広報費・通信費の支出に対する高い費用対効果もねらいとしています。

また、昨年度来、紙面改正された党機関紙「自由民主」、女性誌「りぶる」の新規購読者を開拓し、従来の媒体も活用した効果的な広報活動にも努めていきます。

これらの活動を継続的に実施し、結果、「来たる解散総選挙、来年夏の参議院議員選挙に勝利し、期待される保守政党自民党の政権奪還、党员数の増大につなげていきます。

---

<sup>i</sup> 大会にて加筆修正し承認